

女工代表曰曰曰イ外古名ノ事跡室、招致シ伊豫之  
配人ヨリ御考メテ抽摺シ今後ニ対スル方策ヲ述ベ別  
記要協安書ノ以テ概才魁擡シ名ヲ示メ女工側ハ之ヲ  
諒シシ一先解決スル方策ニテ人ヨリ全部就事ヲ  
見ルニモシ

一、園像労働組合ノ状況等、

本組合ハ、全北名工の代表者等ヲ、園井友婦平  
素ノ懇話ニ対スル女工ノ不満ニ端ヲ充シ先ニ工場之  
側ニ孔ヲ開キ要死眼目タル酒井友婦ノ措置ニ就テハ  
在在考へ處中一尤シク其他ノ事蹟ニ対シテ諸君  
善後策ヲ論シツツカ

安撫策

- 一、要死事蹟(1)(2)(3)ニ対シテ是ノ女工側ノ意思ヲ尊  
重シ三月十三日迄、何レノ面議ノ爲メ
- 二、(2)ノ之ヲ貴定スル
- 三、(4)ノ工場側ニ一任スル
- 四、(6)(7)ノ將來考へ書ク
- 五、(8)ノ女工側ノ於テ協定スル
- 六、(9)ノ今回ノ問題ト切リ離シ工場側ノ於テ重役會ノ  
議ニ付シ善後策スル